

# 労働時間削減への取り組み

---

2011年3月2日  
キヤノン株式会社  
人事部 狩野 尚徳

# 1. 会社紹介



# 会社概要

- 設立 1937年8月10日
- 本社所在地 東京都大田区下丸子3-30-2
- 従業員数(単独) 26,019人
- 従業員数(連結) 197,386人
- 売上高(単独) 2兆3,170億円  
(連結) 3兆7,069億円

- 事業内容

オフィスイメージング機器(複写機等)

コンピュータ周辺機器(プリンター等)

ビジネス情報機器(電子辞書等)

カメラ・ビデオカメラ

光学機器その他(半導体用露光装置等)

# 共生

世界の繁栄と人類の幸福のために貢献すること  
そのために企業の成長と発展を果たすこと



# 行動指針

---

- ・三自の精神

自発・自治・自覚の三自の精神を持って進む

- ・実力主義

常に、行動力・専門性・創造力・個性を追求する

- ・国際人主義

異文化を理解し、誠実かつ行動的な国際人をめざす

- ・新家族主義

互いに信頼と理解を深め、和の精神をつらぬく

- ・健康第一主義

健康と明朗をモットーとし、人格の涵養につとめる

---



## 2. 労働時間の削減に向けた取り組み

**効率的な働き方の推進**



**永続的に成長できる会社と  
豊かで充実した人生を実現すること**

# 具体的施策

## ①時短に向けた制度

- ・年間所定労働時間:1800時間(7.5時間×240日)
- ・休暇制度(リフレッシュ休暇制度・フリーバカンス制度)

## ②働き方改革

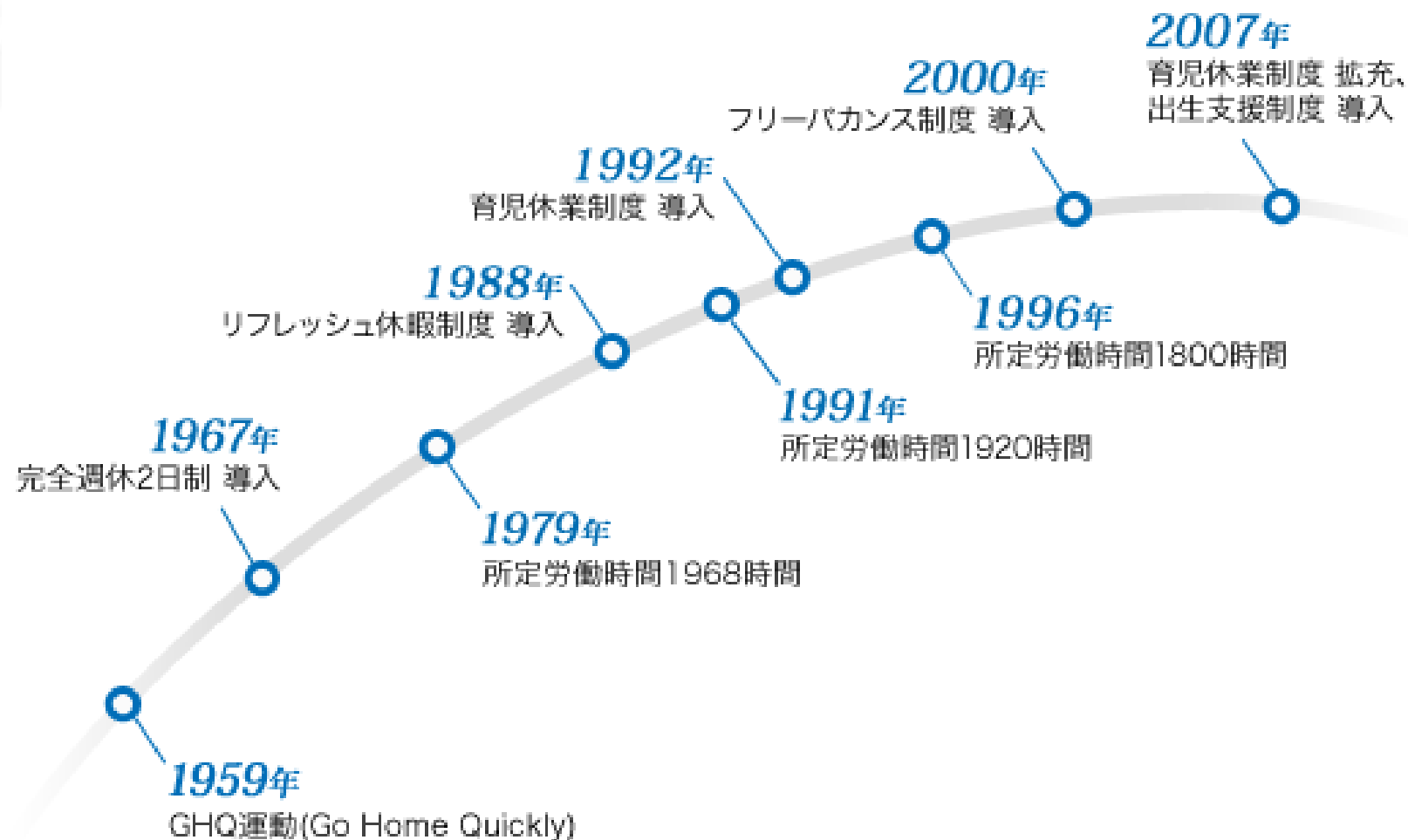
- ・「仕事と生活の調和推進プロジェクト」への参画
- ・「ノー残業デー」の徹底
- ・労使委員会(ワーク・ライフ・バランス推進委員会)の設置
- ・新任管理職研修
- ・CKI(Canon Knowledge-intensive staff Innovation)活動

## ③労働時間管理の徹底

- ・部門への実績レポートの配布
- ・管理職への説明会の実施
- ・勤務管理システムによる警告メール



# 労働時間・休日・休暇に関する取り組み



# 「仕事と生活の調和推進プロジェクト」への参画

## ＜概要＞

- ・2007年12月、「ワーク・ライフ・バランス推進官民トップ会議」において、憲章及び行動指針が策定された。
- ・具体策として、日本を代表する企業10社が選定され、2008年4月より「仕事と生活の調和推進プロジェクト」が実施されている。

## ＜参画企業10社＞

- |         |         |
|---------|---------|
| ① 電通    | ⑥ 日産自動車 |
| ② 全日空   | ⑦ 三井化学  |
| ③ 日立製作所 | ⑧ 鹿島建設  |
| ④ 住友商事  | ⑨ 高島屋   |
| ⑤ 大和証券  | ⑩ キヤノン  |



# 「ノー残業デー」の徹底

- ポスターによる啓蒙
- ノー残業デーの放送、消灯・空調停止の徹底
- キヤノンライフ(社内報)での広報活動
- 各地区での啓蒙と労働時間削減の取り組み



「Good life, after five!」

2008年4月、キヤノン厚生労働局が主催する「仕事と生活の調和推進プロジェクト」のモデル企業に選定されました。

しゅっかり働き  
ゆっくり休む

まずはノー残業デーの徹底から

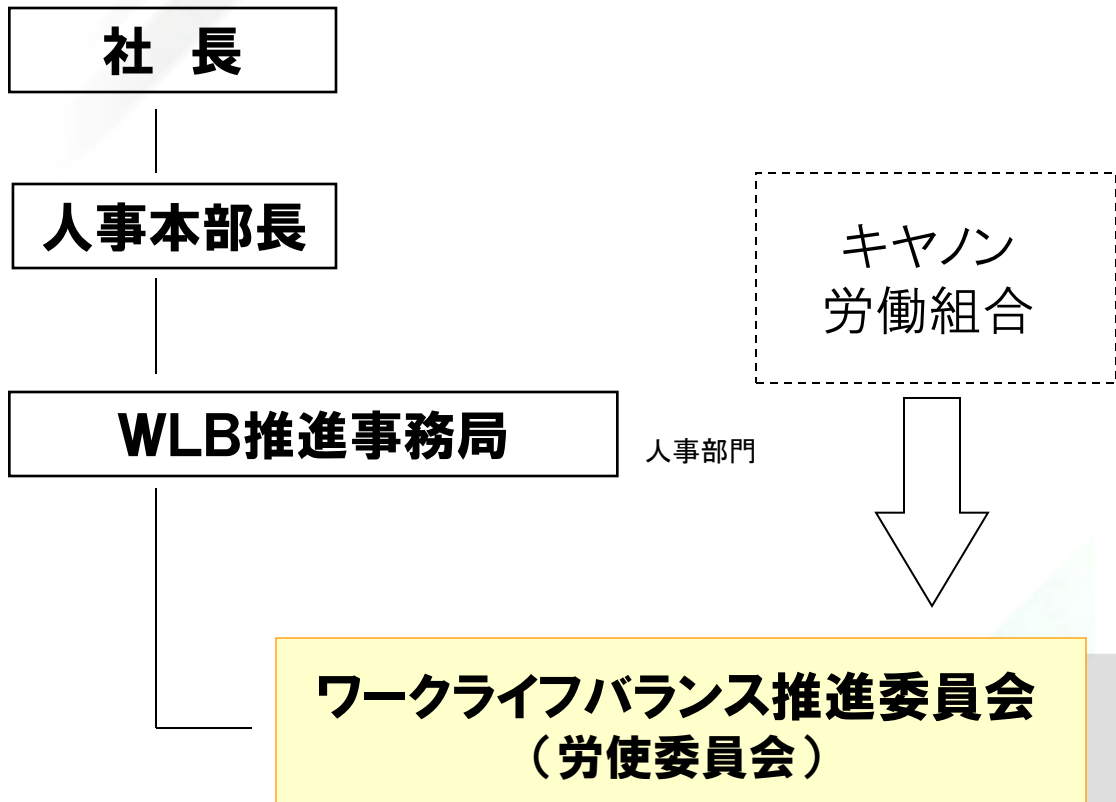
一話聞かせを禁止して強制的にJUSO、キヤノン体(ノー残業デー)OSを推進する4人1組を創設する予定です。

キヤノン株式会社 厚生労働局  
〒100-8555 東京都千代田区千代田1-1-1  
キヤノン株式会社 厚生労働局 (03)5561-1111

総務本部・人事本部

# 労使委員会の設置

## 「ワーク・ライフ・バランス推進委員会の設置」



## 時間力を高めよう！

「ワーク・ライフ・バランス」は、誰もが実現したはず……。  
時間の使い方を直し、さまざまな可能性を広げてみませんか？

もっと時間を有効に使うために！例えば…

- 時間を決める。**  
今朝、今日やることを整理して取り掛かる時間を決めてみる。
- 時間を増やす。**  
メールではなく、できるだけ直接話す時間を増やしてみる。
- 時間を守る。**  
会議や打ち合せの開始・終了時間は必ず守る。
- 時間を探す。**  
1日を振り返り、減らせる時間を探してみる。
- 時間をもらう。**  
上司から、仕事の課題を一緒に解決するための時間をもらってみる。



**しっかり働き ゆっくり休む**

ワークライフバランス推進委員会

(委員会にて発行した社内ポスター)

## コンプライアンス

企業安全保障・規則・規律  
労働法規・労使協定  
規制時間・サービス残業  
職場規 律

## 業務管理

部下を通じた業務遂行  
進捗管理・時間外指示  
成果管理・負荷配分  
生産性向上

## 報酬・コスト

時間外手当  
仕事の量と質・人事評価  
人件費・経費削減

# 労働時間 管理

## 安全・健康

心身の健康確保  
安全配慮義務  
過重労働・過労死  
深夜業・超過残業者健診

## ワークライフバランス

仕事と生活の調和  
ノー残業デー・総労働時間  
有給休暇・フリーバカンス  
育児/介護休業・短時間勤務

# 部門への実績レポートの配布

## ①目的

- ・職場での労働時間実績の把握
- ・職場による主体的な労働時間管理の徹底

## ②配布先

- ・各事業本部長

## ③配布資料

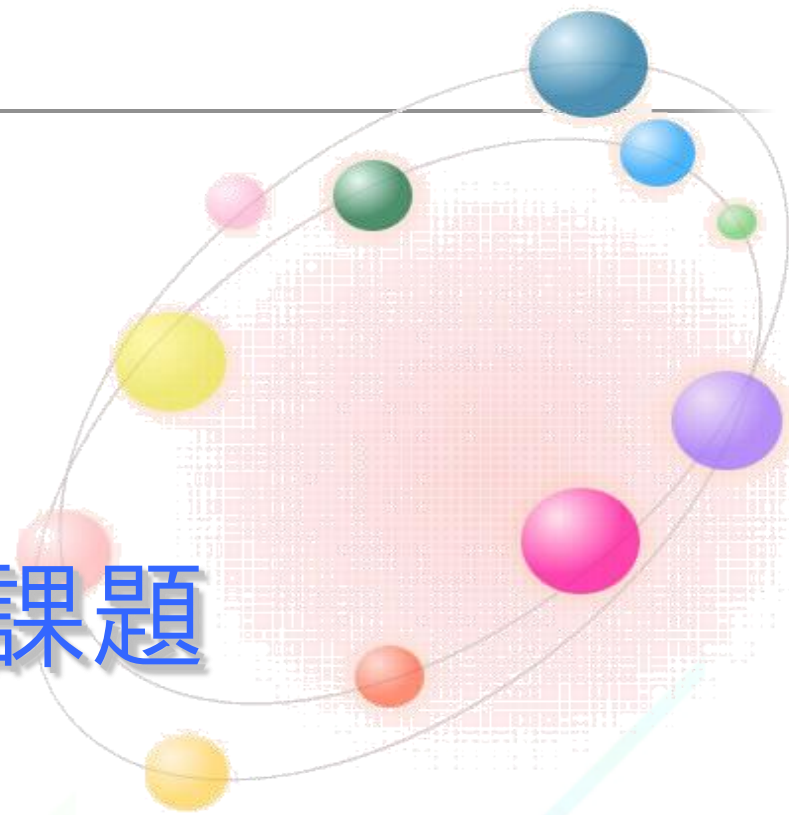
- ・時間外労働(平均)時間・深夜退門状況一覧・特別延長時間申請者数・特別延長時間申請回数 等

## 管理職への説明会の実施

- ①実施時期：2010年3月
- ②対象：全管理職
- ③内容：労働基準法の改正の趣旨とキヤノンの対応、  
適正な労働時間管理について 等

- ①実施時期：2010年11月
- ②対象：全管理職
- ③内容：適正な労働時間管理について(再徹底)  
労働時間の今後の方針説明 等

### 3. 今後の課題





## 今後の課題

---

①いわゆるホワイトカラーの働き方はどうあるべきか  
(制度の整備？意識改革？風土醸成？)

②人事評価・処遇との連携  
(仕事のできる人に仕事が集まる？)

---

---

ご清聴ありがとうございました。

**Canon**

make it possible with canon

---